

平成29年度 経営支援事例報告書

【テ ー マ】

支援区分	その他経営支援
支援テーマ	ブランド力向上による販路開拓支援

【企業の概要】

名 称	大谷養蜂場	創 業 年	2014年
代 表 者	大谷 祐輝	業 種	養蜂業
商 工 会	八頭町商工会	(取扱い商品等)	蜂蜜(百花、れんげ、とち)

【支援の概要】

1. 相談の経緯 <p>商品の付加価値化を図るため、既存商品のラベル変更とPR用リーフレット作成を計画されており、施策活用について相談を受けた。当時、商工会では、本事業者を商工業者として認識しておらず、計画策定に向けて、事業経緯や養蜂の知識、生産工程などのヒアリングから支援を開始した。</p>	
2. 経営課題 <p>祖父が自家用として1962年頃から養蜂を開始し、徐々に生産量を拡大。2005年から事業化し販売を開始した。2014年に現代表が祖父から事業を承継。蜂に抗生物質を与えず、加熱濃縮をしない100%自家生産の天然蜂蜜を生産しているが、他社の国産蜂蜜と比較し安価な価格設定であった。そのため、品質に疑念を抱かれる心配や適正利益の確保ができないことが課題となっていた。</p>	
3. 支援内容 <p>(1) ブランド力の向上や適正利益の確保を目的として、情報発信力の強化、関西圏への販路開拓に向けた事業計画の策定支援を行った。 (2) 商品ラベル変更、リーフレット作成について、小規模事業者持続化補助金を通じ支援した。 (3) 事業計画実行支援として、個別相談会により店頭POPの活用やHP改善を提案した。 (4) 販路開拓支援（商談力向上セミナー案内、ひろしま夢プラザ、大阪展示商談会へ出展）</p>	
4. 支援の成果 <p>(1) 商品価値を再認識し、価格設定の見直し（適正化）や商品ラベルの変更によりブランド力が向上。 (2) リーフレット作成（小規模事業者持続化補助金活用）により情報発信ツールが整備でき、新規顧客10件増加。 (3) 自社ホームページや電話による直接販売の売上が前年比1割増加。</p>	5. 成果物等の写真 
6. 事業者の声 <p>小規模事業者持続化補助金を活用したことで事業計画が作成でき、事業状況を振り返る事ができた。それによって、課題や今後の方向性などが明確になった。今後も継続的に商談会等、販路開拓の支援をしていただきたい。</p>	

【報告者】

センター	東部商工会産業支援センター	担当者名	石渡 大輔
------	---------------	------	-------